

## 日本ビジネスシステムズ株式会社 “マイクロソフト パートナー オブ ザ イヤー 2014”において2部門受賞

日本ビジネスシステムズ株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:牧田幸弘、以下JBS)は、日本マイクロソフト株式会社が主催する“マイクロソフト パートナー オブ ザ イヤー 2014”においてCollaboration and Content コンピテンシー アワードと Management and Virtualization コンピテンシー アワードの2部門を受賞いたしました。Collaboration and Content コンピテンシー アワードでの受賞は2年連続となります。マイクロソフト パートナー オブ ザ イヤーは、マイクロソフト製品を使用したシステム構築を主業務とするマイクロソフト パートナーネットワーク参加パートナー企業を対象とし、30 分野のアワードにおいてその年最も優れたソリューションを提供した企業を選出するものです。

今回JBSが受賞した2部門の概要は以下の通りです。

### Collaboration and Content コンピテンシー アワード

#### ▶アワード概要

SharePointを中心に顧客企業の従業員の生産性向上に寄与した優れたコラボレーション ソリューションを達成した企業を表彰。

#### ▶JBS受賞理由

Ambient Office/アンビエントオフィス®( JBSが 開発したマイクロソフト製品群をエンドユーザ視点のシナリオに基づいて統合するソリューション)や Yammer活用ソリューションを中心に豊富な SharePoint のソリューションを展開し、数万ユーザー規模の案件を獲得するなど、多数の大規模案件を獲得。さらに、クラウドへの対応についても多くの実績を残し、多数のマーケティング活動を展開した。

### Management and Virtualization コンピテンシー アワード

#### ▶アワード概要

顧客企業の経費削減、可用性の向上、組織の IT インフラストラクチャの機敏な対応を改善するようなデスクトップやサーバーのシステム管理および仮想化ソリューションを、System CenterやHyper-V、Microsoft Azureにて提供した企業を表彰。

#### ▶JBS受賞理由

Data Planet/データプラネット®( JBS が提供するクラウドソリューションとサービスの総称)等、市場のニーズに適したハイブリッドクラウド管理基盤を支える 数多くのサービスを展開。ハードウェアメーカーとの協業を深めるとともに、様々なマーケティング活動を通して、マイクロソフトのビジョンである「クラウド OS」の認知形成に寄与し、案件の獲得、導入を進めた。

JBSは、「お客さまにとって最良のシステム・最善のサービスを」のモットーの下、今後も先進的なソリューションを提供する企業努力を継続して参ります。

### 報道関係問い合わせ先

「日本ビジネスシステムズ株式会社広報事務局」(株式会社アンティル内)

担当:早速 (はやみ)

Tel: 03(5572)6061 Fax:03(5572)6075

## 【日本ビジネスシステムズ株式会社について】

- 所在地: 〒105-6316 東京都港区虎ノ門1-23-1 虎ノ門ヒルズ森タワー16F
- URL: <http://www.jbs.co.jp>
- 設立: 1990年10月
- 資本金: 9,200万円
- 代表者: 代表取締役社長 牧田 幸弘
- 売上高: 233億 4,000万円 (2013年9月期)
- 社員数: 730名(単体)、1,522名(グループ全体)
- 事業内容: ITコンサルティング、システムインテグレーション、ITサービス、アプリケーション開発